

広報

おおの



大野油坂道路 起工式特別号

平成26年9月15日 NO.830



ついに大野油坂道路起工

中部縦貫自動車道・大野油坂道路起工式典開催



市ホームページ
携帯電話用サイト

<http://www.city.ono.fukui.jp/>

<http://www.city.ono.fukui.jp/>



希望の道、着工

大野東と和泉間の14キロ



式典で、岡田市長は、『大野東・和泉間』は、平成21年の事業化から5年経過し、供用開始に向けて、起工式で折り返し点を迎えた。中部縦貫自動車道は、広域交流や地域連携の強化、産業経済の活性化を促進し、大規模災害時の緊急輸送・救急医療活動の支援や冬季の安全で安心な交通の確保を願う市民にとって、『生命の道』、『生活の道』、『希望の道』であることから一日も早い全線開通に向けて全力で取り組むと決意を述べました。



平成23年5月の幅ぐい打ち

8月30日、中部縦貫自動車道・大野油坂道路の起工を祝う式典が開催されました。山崎正昭参議院議長や高木前国土交通副大臣をはじめとする地元選出国会議員や国、県の関係者、市民など約130人が参加して工事の安全と早期の全線開通を祈願しました。

幅ぐい打ちから3年、
念願の起工式

旧蔵生小学校で行われた起工式では、来賓や主催者と小・中学生の代表が、体育館のステージ前に盛られた土に鍬を入れました。鍬入れと同時に九頭竜川橋(仮称)の完成予想図が公開され、参加者に披露しました。今回着工したのは、大野油坂道路(中津川から東市布の間)32キロのうち、大野東と和泉の間14キロです。この区間は、3年前の平成23年5月に事業に必要な用地の範囲を示す幅ぐい打ちが行われ、「子どもぐい打ち隊」として参加した当時の小学生も、今回の起工式に参加しました。

幅ぐい打ちから3年がたち、いよいよ大野東と和泉の間で本格的な工事が始まりました。

生命の道、生活の道、



安全で安心な 暮らしの確保に

主催者代表のあいさつで、高木前国土交通副大臣は、「大野坂道路は中部縦貫自動車道の一部として、福井県と中京圏を最短で結ぶ高速交通ネットワークを形成し、地域経済の活性化、安全で安心な暮らしの確保が一層高まる」と話しました。

東京、中京圏へ 最大のゲートウェイ

高木前国土交通副大臣に続いて、西川知事は、「大野坂道路が開通することで、大野市にとって中京圏や東京への最大のゲートウェイ(入口)となる。福井県はもとより、日本全体としても大きな高速交通体系が完成し、県の施策にとって大事な道路となる。引き続き全力で完成を急ぎたい」と、あいさつしました。



期待の言葉



歴史博物館 田中学芸員

「大野市が高速交通体系に組み込まれることで、幕末の「大野屋」や「大野丸」のように、本市と全国各地とが結ばれ、交流・交易に大きな成果をもたらすものと期待します。」

尚徳中学校1年生 帰山眞子さん

「この道路が早く完成し、多くの人が大野を訪れ、大野の素晴らしさに触れてもらい、大野のファンになる人がたくさんできてほしいです。」

大野油坂道路の概要

中部縦貫自動車道は、長野県松本市を起点に奥越地方を通り、福井市に至る約160kmの自動車専用道路(高規格幹線道路)で、中央自動車道長野線や東海北陸自動車道、北陸自動車道を相互に連絡して広域交通の円滑化を図ることを目的としています。

大野油坂道路は、その中部縦貫自動車道の一部で、大野から油坂出入口の約32kmです。現在、事業化されている大野東から和泉間、和泉から油坂出入口間については、事業化からおおむね10年での供用開始に向け、順調に進められています。

未事業化区間となっている大野から大野東間は、平成27年度の事業化に向け、国や関係機関に対して活発に要望活動を行っています。

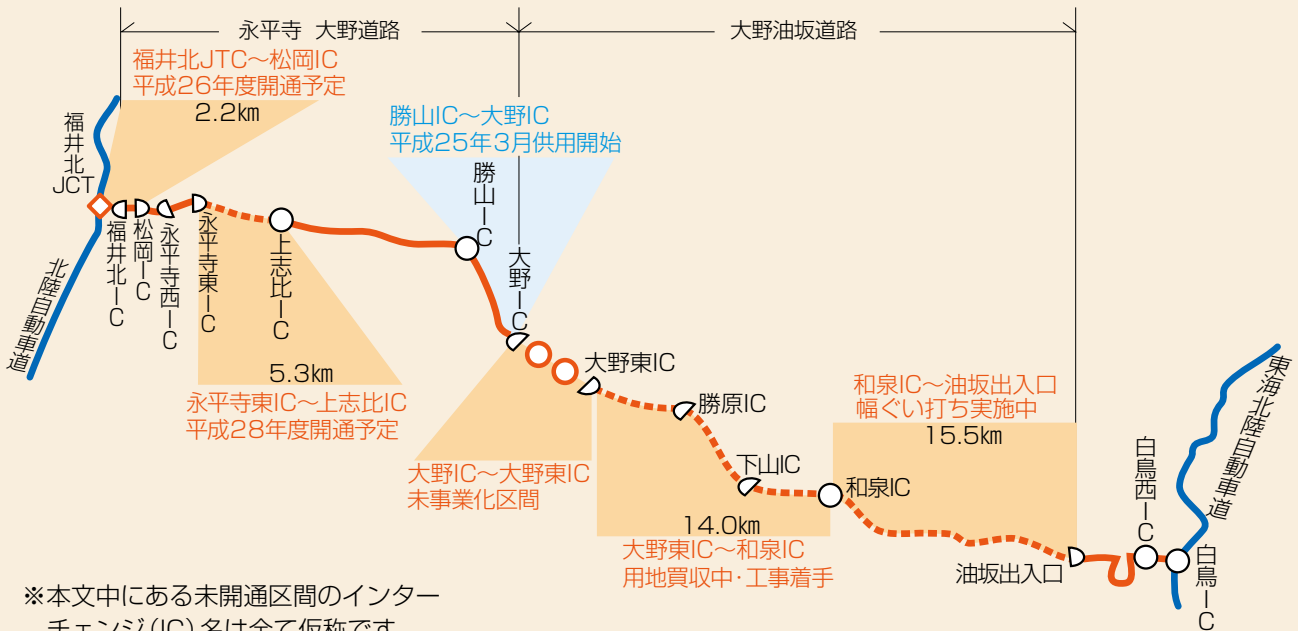
○路線名 国道158号大野油坂道路 ○計画区間 大野ー油坂出入口
 ○計画延長 約32.0km ○標準幅員 13.0m ○設計速度 60km/時 ○車線数 2車線

事業化区間

平成21年3月 大野東～和泉間14.0km (うちトンネル4本約10km)

平成24年4月 和泉～油坂出入口間15.5km (うちトンネル6本約10km)

未事業化区間 大野～大野東間



発行 福井県大野市

事業化から供用開始までおおむね10年程度の工程

- 事業化
- 測量・地質調査など
- 道路予備設計 (地元設計協議)
- 幅ぐい打ち
- 用地測量・物件調査
- 用地買収
- 道路詳細設計
- 各工事説明など
- 工事着手(起工式)**
- 工事完成
- 供用開始

編集 結の故郷推進室 (☎0779・66・1111)